

# 国語科 学 習 指 導 案

平成 23年 10月 日 ( ) 第 校時 3年\*組 指導者 市川 真人

育成する国語の能力	文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。		
単元目標	○交流しながら書く活動を通して、文章の読解を深めようとする。(関心・意欲・態度) ○文章の構成や展開について意識し、論理をたどって読むことができる。(読む能力) ○難解な語句、抽象的な語句を理解できる。(知識・理解)		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	①交流しながら書く活動を通して、文章の読解を深めようとしている。	①本文の構成や展開について意識し、文章を読もうとしている。 ②グループでの意見について、文章中に根拠を求めようとしている。	①問題文中の語句、表現の意味を理解している。
取り上げる言語活動	グループでの意見交換		
題材(教材)	評論「手の変幻」(清岡卓行)を素材にした入試問題 小論文過去入試問題		
単元(教材)について	(1)教材観：「手の変幻」の読解は、「国語総合」における既習教材であり、今回は入試問題として取り組むことで、更なる読みの深まりにつながる。出題者の意図を踏まえながら同教材を再読することによって、生徒は論理的な読解とはどのような読みかを理解することができる。 (2)生徒観：論理的な文章の読解は、繰り返し取り組んでいる。しかし、難解な文章ほど自分の力で考えることをあきらめてしまう。与えられたのを理解することは得意であるが、根気強く思考を深めていくことに障壁がある。 (3)指導観：(ア)小論文入試問題の利用によって、言語活動の活性化および文章作成の苦手意識を軽減する。 (イ)解答の添削をグループで演習することによって、解答の作成に必要な論理性のある読解力を習得する。また、他者と意見を知ることで、自分の解答作成に客観的な視点をもてるようになる。		
指導計画(学習計画)	主な学習活動	主な評価	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文の入試問題に取り組み、設問の意図、解答の方向性についてグループで検討し、ワークシートにまとめる。</li> <li>発表者がグループの意見をまとめて、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流しながら書く活動を通して、文章の読解を深めようとしている。(関・意・態①)</li> <li>問題文中の語句、表現の意味を理解している。(知・理①)</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時と別の小論文問題に取り組み、設問の意図、解答の方向性についてグループで検討し、ワークシートにまとめる。</li> <li>発表者がグループの意見をまとめて、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の構成や展開について意識し、文章を読もうとしている。(読む能力①)</li> <li>問題文中の語句、表現の意味を理解している。(知・理①)</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「手の変幻」についての入試問題を解答する。(事前に課題として提出させる)</li> <li>提示した解答例についてグループで添削案を検討し、添削シートにまとめる。</li> <li>他グループの添削案についてメモを取り、自分の解答案を修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流しながら書く活動を通して、文章の読解を深めようとしている。(関・意・態①)</li> <li>本文の構成や展開について意識し、文章を読もうとしている。(読む能力①)</li> <li>グループでの意見について、文章中に根拠を求めようとしている。(読む能力②)</li> </ul>	

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と同様に、「手の変幻」の入試問題について、別の設問の解答例をグループで検討し、添削シートにまとめる。</li> <li>・他グループの添削案についてメモを取り、自分の解答案を修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の構成や展開について意識し、文章を読もうとしている。(読む能力①)</li> <li>・グループでの意見について、文章中に根拠を求めようとしている。(読む能力②)</li> </ul>
---	---	--

本 時 案 (第1次の第4時)		
本時の目標	○文章の構成や展開について意識し、論理をたどって読むことができる。(読む能力)	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
<p>〈導入5分〉</p> <p>1 本時の目標を確認する。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容を振り返る。</li> <li>・本時の目標を確認する。</li> </ul>	
<p>生徒への提示：高度な解答例を作成するためには、本文の論理的な読解が必要である。</p>		
<p>〈展開40分〉</p> <p>2 問題文を再度黙読し、自分の解答を振り返る。</p> <p>3 <u>グループでの読解</u></p> <p>(1) どのように添削するかをグループで話し合う。</p> <p>(2) グループで一つの添削例を完成させる。</p> <p>(3) 添削シートにまとめ、教室にポスターで発表する。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問を意識した上での読解を、心掛けるように注意する。</li> <li>・添削シートを配布する。</li> <li>・解答例については作成者を詮索しないように注意する。</li> <li>・解答例が根拠とする本文中の箇所を、発見、指摘させる。</li> <li>・解答例を練ることを通して、自分の知らない新しい語彙や表現を習得させる。</li> <li>・添削シートに記入することで、グループの意見を集約する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の意見を検討し、根拠を確認しながら読解をしようとしている。(読む能力①)</li> </ul> <p><u>評価の方法</u>  <u>発言の観察</u>  <u>添削シートの確認</u>  (規準に達していない場合の手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が検討できない場合は、根拠となる本文中の箇所のヒントを出し、導くようにする。</li> </ul>
<p>〈まとめ10分〉</p> <p>4 <u>共有とフィードバック</u></p> <p>(1) 他グループの添削シートについて、考えたことをメモ欄にまとめる。</p> <p>(2) メモを基にして、自分の解答案を完成させる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見習うべき表現、習得したい語彙などをメモに残させる。</li> <li>・他者のよい表現を積極的に取り入れるのは、自分に資する行為だと指導する。</li> <li>・自分の解答例を完成させて、提出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の読解を根拠にして、自分の意見をまとめている。(読む能力②)</li> </ul> <p><u>評価の方法</u>  <u>解答例の確認</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文に根拠を求められない場合は、本文中の根拠は論理的な読解に必要なことであると繰り返し説き、メモを見直させる。</li> </ul>